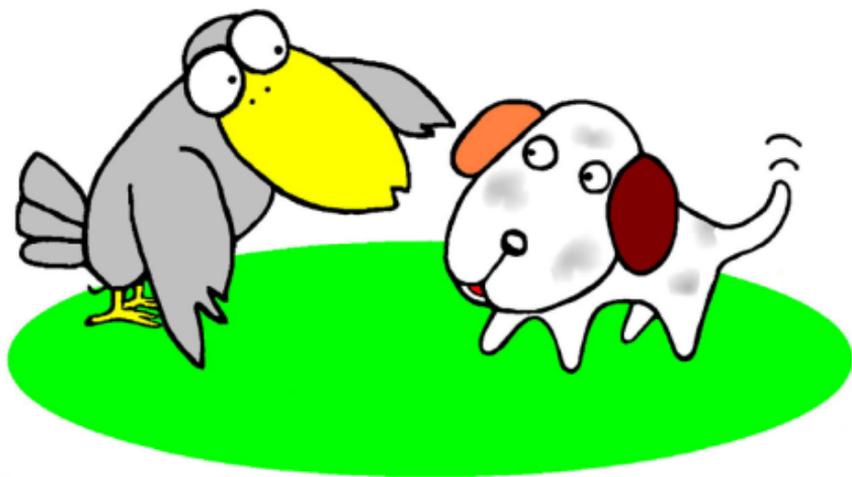


マク

MAKU

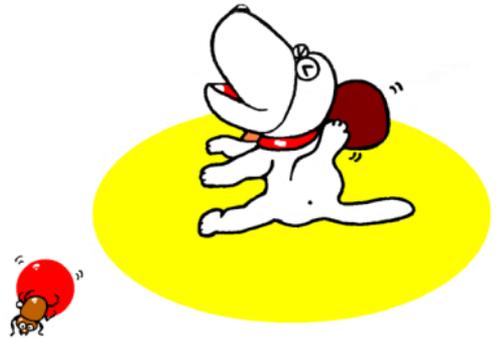


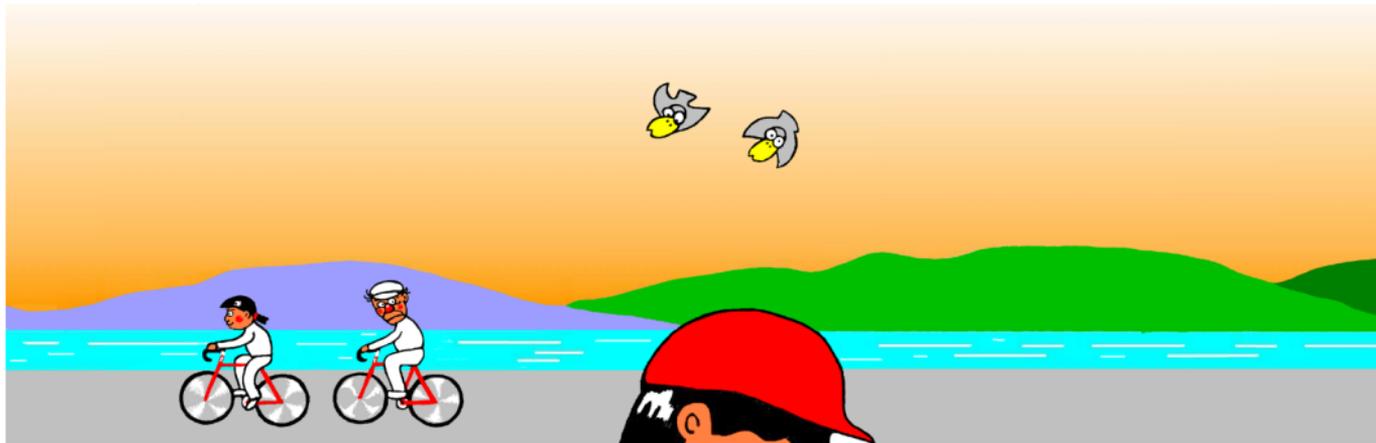
え じ ねんさい いっしょう
絵：自然齋 一勝

ぶん
文：よしだゆきこ

マク

MAKU





日が暮れて

遊び疲れた帰り道

後ろから小さな足音が聞こえます

ノリオが振り返ると

そこには薄汚れた一匹の子犬が

ポツンとたたずんでいました



「何だ お前？ 一人ぼっちなのか？」

ノリオが声を掛けると

子犬は「クゥ〜ン」と悲しそうな声で鳴きました

「じゃあ 俺ん家来るか？」

すると 子犬は元気よく

「ワン！ワン！」と

しっぽを振りました



「いいか 後で 晩飯持ってくるから

お前はここでじっとしてろよ！」

ノリオは 子犬を自分の部屋に残し

食事に行きました

ためしよみ

は

ここまでです